

デフォルトの転送タイプの変更によるASAスマートライセンスの問題のトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[機能情報](#)

[検証](#)

[Callhomeへのスマートトランスポート](#)

[Callhomeからスマートトランスポート](#)

[プロキシサポート](#)

[互換性](#)

[一般的な問題](#)

[シナリオA](#)

[シナリオB](#)

[シナリオC](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、デフォルトの転送方式がCallhomeからSmart Transportに変更されたため、ASA Smart Licensingに導入された変更点について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- 適応型セキュリティアプライアンスCLI
- Cisco Smart Licensing

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアに基づくものです。

- Cisco適応型セキュリティアプライアンス9.20(4)10

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

機能情報

最新のASAリリースでは、デフォルトのライセンス転送方式がスマートトランスポートに変更されています。主な違いは、デバイスが<https://smartreceiver.cisco.com>に接続してライセンス権限を更新する点です。Callhome方式を使用していた以前のリリースでは、デバイスは代わりに<https://tools.cisco.com>に接続されていました。

この移行では設定変更は不要ですが、<https://smartreceiver.cisco.com>へのトラフィックはアップストリームデバイスで許可される必要があります。

トランスポートモードは、前述のASAのバージョンから導入されました。

- 9.20.4
- 9.22.1
- 9.23.1
- 9.24.1

デバイスがCall Homeまたはスマートトランスポートを使用しているかどうかを確認するには、`show license status`コマンドを使用します。

検証

スマートトランスポート：

```
<#root>
```

```
ASA#
```

```
show license status
```

```
Smart Licensing is ENABLED
```

```
Utility:
```

```
Status: DISABLED
```

```
Data Privacy:
```

```
Sending Hostname: yes
```

```
Callhome hostname privacy: DISABLED
```

```
Smart Licensing hostname privacy: DISABLED
```

```
Version privacy: DISABLED
```

```
Transport:
```

```
Type: Smart <----
```

```
URL: https://smartreceiver.cisco.com/licservice/license <----
```

```
Proxy:
```

```
Not Supported
```

```
VRF:
```

```
Not Supported
```

```
Callhome:
```

```
<#root>
```

```
ASA#
```

```
show license status
```

```
Smart Licensing is ENABLED
```

```
Utility:
```

```
Status: DISABLED
```

```
Data Privacy:
```

```
Sending Hostname: yes
```

```
Callhome hostname privacy: DISABLED
```

```
Smart Licensing hostname privacy: DISABLED
```

```
Version privacy: DISABLED
```

```
Transport:
```

```
Type: Callhome <----
```

Smart Transportをデフォルトで使用しているASAバージョンでは、smartreceiver.cisco.comでの到達可能性の問題の解決に時間がかかり、サービスが停止した場合は、Callhomeに戻すことができます。ただし、Callhomeは今後廃止される予定ですので、接続が復旧したら必ずスマートトラ

ンサポートを使用するように設定を戻してください。

Callhomeへのスマートトランスポート

コマンドライン:

```
<#root>
```

```
ASA#
```

```
configure terminal
```

```
ASA(config)#
```

```
ASA(config-smart-lic)#
```

```
transport type
```

```
?
```

```
smart-lic-mode mode commands/options:
```

```
callhome
```

```
Use Smart Call Home as license message transport
```

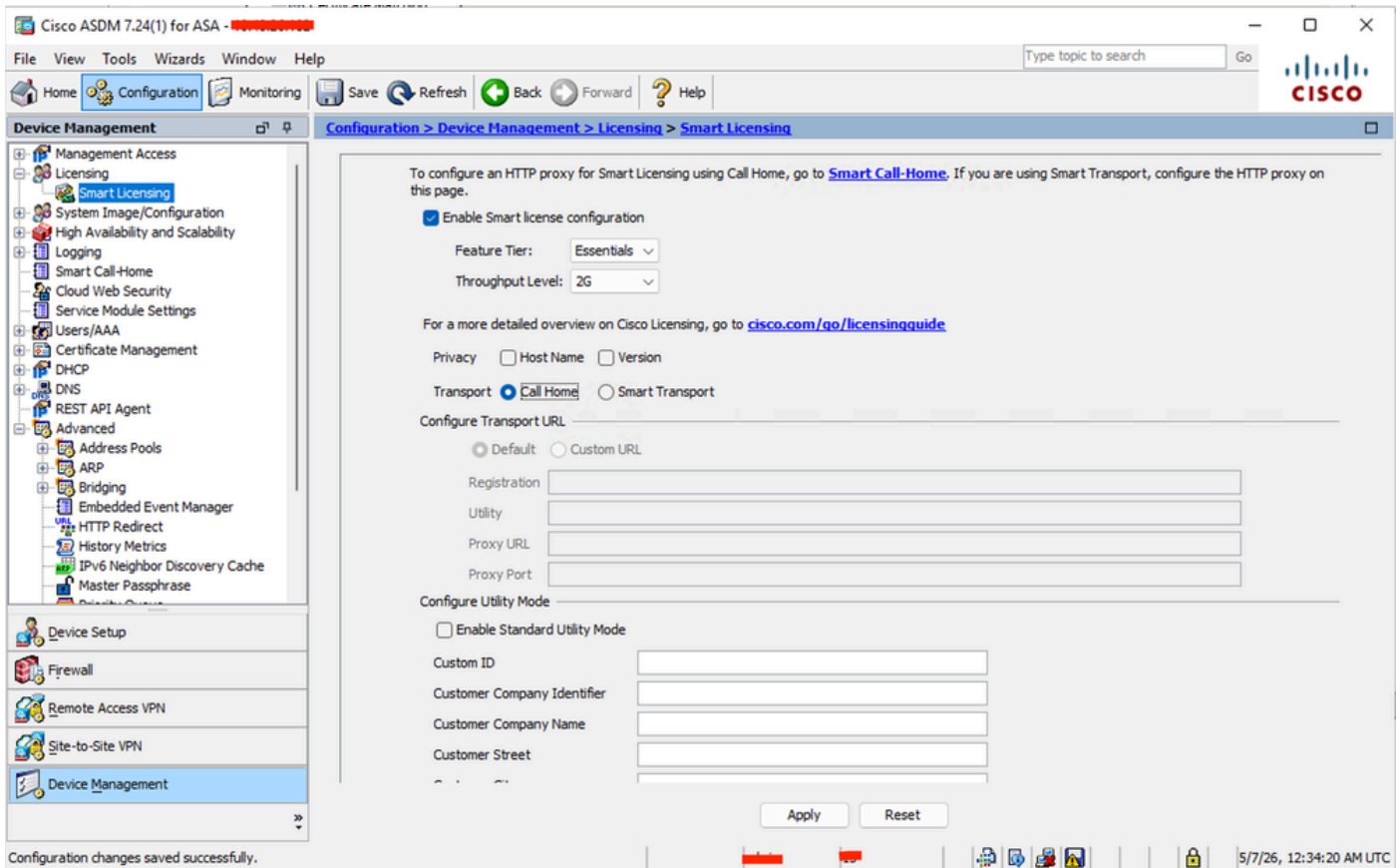
```
smart Use Smart Transport as license message transport
```

```
ASA(config-smart-lic)#
```

```
transport type callhome
```

ASDM:

設定>デバイス管理>ライセンス>スマートライセンス



Callhomeからスマートトランスポート

コマンドライン:

```
<#root>
```

```
ASA#
```

```
configure
```

```
terminal
```

```
ASA(config)#
```

```
ASA(config-smart-lic)#
```

```
transport type
```

```
?
```

```
smart-lic-mode mode commands/options:
```

```
callhome Use Smart Call Home as license message transport
```

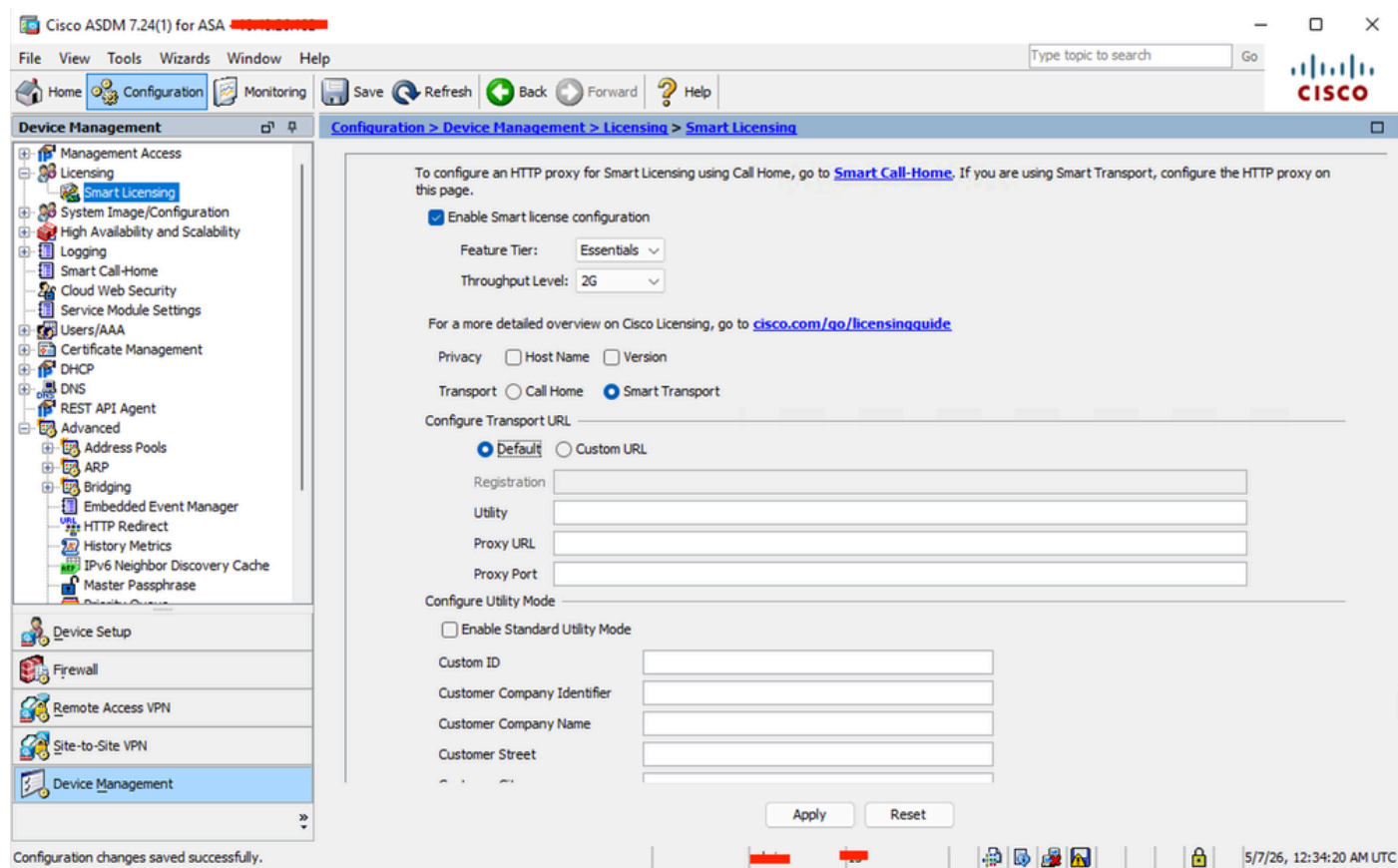
```
smart
```

Use Smart Transport as license message transport
ASA(config-smart-lic)#

transport type smart

ASDM:

設定>デバイス管理>ライセンス>スマートライセンス



プロキシサポート

ご使用の環境で<https://smartreceiver.cisco.com>への接続にプロキシが必要な場合は、スマートライセンス設定でtransport proxy [proxy] port [port]を追加して、プロキシを設定してください。

例 :

<#root>

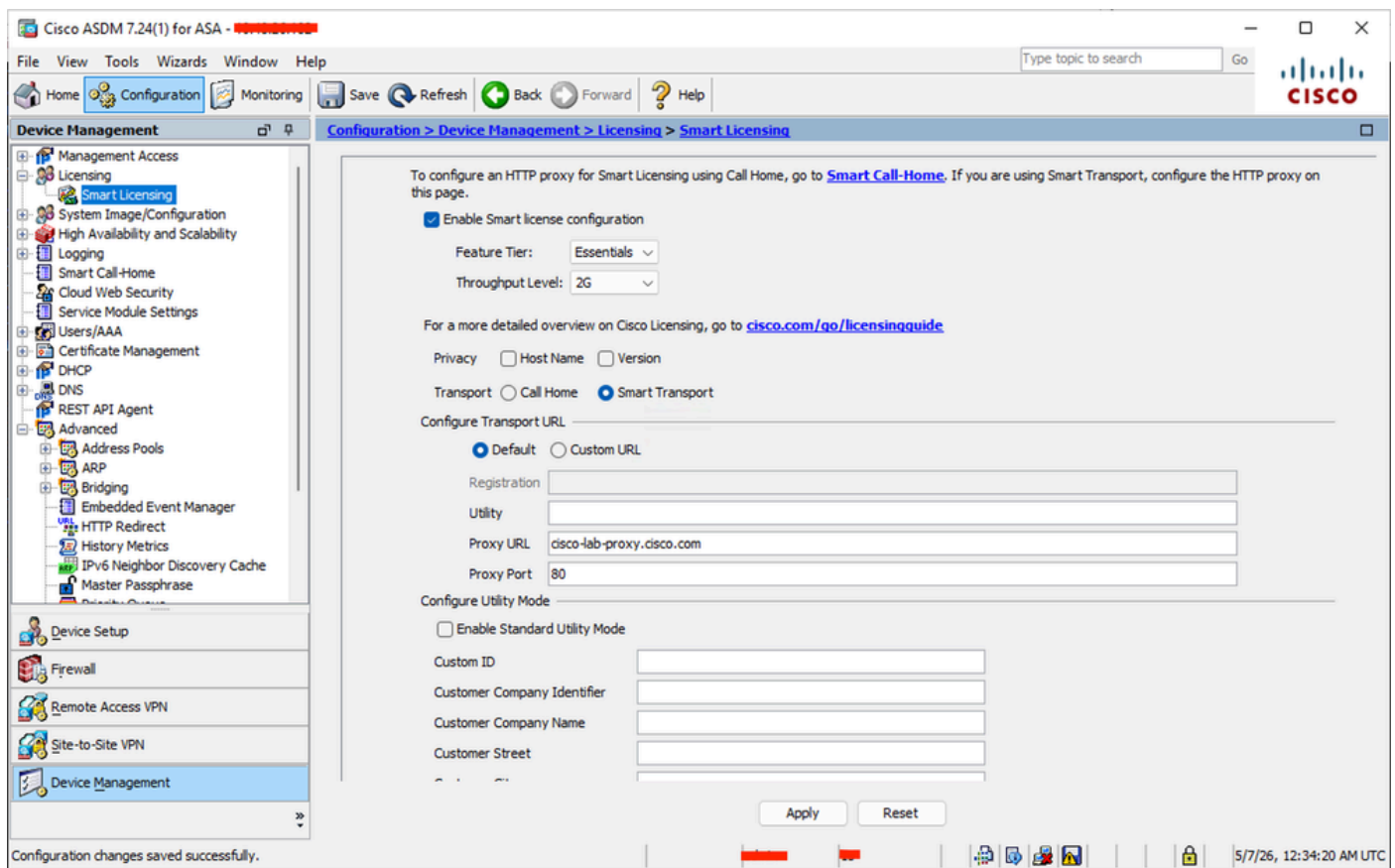
```
ASA#configure terminal
ASA(config)#
```

```
license smart
```

```
ASA(config-smart-lic)#
```

```
transport proxy cisco-lab-proxy.cisco.com port 80 <----
```

ASDMから、Configuration > Device Management > Smart Licensingの順に選択します



プロキシ設定を確認する際には、「Cisco Bug ID [CSCwr56980](#)」を確認してください。

互換性

Callhomeは、スマートトランスポートがデフォルトモードとして設定されているバージョンでも使用できます。Callhomeオプションを有効にするには、ライセンス設定内でトランスポートタイプをCallhomeに設定する必要があります。

<#root>

ASA#

show run license

license smart
[..]

transport type callhome <----

一般的な問題

さまざまな動作が観察され、アップグレード後に製品に影響を与えるリリースや、ライセンスモデルがSmart Transportにアップデートされたリリースなど、一般的なシナリオがいくつかあります。

シナリオA

条件：ASAがSmart Authorityに到達できません

ステータス：ASA is authorized, no operational impact (less than 90 days)。

<#root>

Registration:

Status: REGISTERED

Smart Account: Cisco Systems, TAC

Virtual Account: EU TAC

Export-Controlled Functionality: ALLOWED

Initial Registration: SUCCEEDED on Jan 12 2026 13:09:43 UTC

Last Renewal Attempt: None

Next Renewal Attempt: Jul 11 2026 13:09:43 UTC

Registration Expires: Jan 12 2027 13:04:42 UTC

License Authorization:

Status: AUTHORIZED on Jan 12 2026 13:11:25 UTC

Last Communication Attempt: FAILED on Jan 12 2026 13:11:25 UTC <----

Failure reason: Communication message send error <----

Next Communication Attempt: Jan 12 2026 13:11:55 UTC

Communication Deadline: Apr 12 2026 13:04:55 UTC

解決手順：

1. デバイスに設定されているスマートライセンスの転送方法がスマートまたはCallhomeであることを確認します。
2. デバイスが適切なサーバ(スマートトランスポートの場合はsmartreceiver.cisco.com、Callhomeトランスポートの場合はtools.cisco.com)を解決して到達できることを確認することにより、DNS解決が正しく機能していることを確認します。
3. 接続を復元した後、license smart renew authコマンドを実行してライセンス認証を更新します。

シナリオB

条件：ASAは90日を超えてスマート機関に到達できません。

ステータス：ライセンス認証の有効期限が切れると、特別なライセンスが必要な機能が制限されます。最も顕著なのは、ASA AnyConnectセッションが2つに制限され、スループットが100 kbpsに制限されることです。

<#root>

Registration:

Status: REGISTERED
Smart Account: Cisco Systems, TAC
Virtual Account: EU TAC
Export-Controlled Functionality: ALLOWED
Initial Registration: SUCCEEDED on Dec 15 2022 02:52:47 UTC
Last Renewal Attempt: FAILED on Dec 29 2025 07:20:08 UTC
Failure reason: Communication message send error
Next Renewal Attempt: Dec 29 2025 07:20:38 UTC
Registration Expires: Jun 02 2026 03:15:26 UTC

License Authorization:

Status:

AUTH EXPIRED

on Dec 29 2025 06:37:55 UTC

Last Communication Attempt: FAILED on Dec 29 2025 06:37:55 UTC <----
Failure reason: Communication message send error <----

Next Communication Attempt: Dec 29 2025 07:37:55 UTC
Communication Deadline:

DEADLINE EXCEEDED <-----

<#root>

Licensed features for this platform:

Maximum VLANs	: 1024
Inside Hosts	: Unlimited
Failover	: Active/Active
Encryption-DES	: Enabled
Encryption-3DES-AES	: Enabled
Security Contexts	: 2
Carrier	: Disabled

AnyConnect Premium Peers : 2

<<<<<<

AnyConnect Essentials	: Disabled
Other VPN Peers	: 10000
Total VPN Peers	: 10000
AnyConnect for Mobile	: Disabled
AnyConnect for Cisco VPN Phone	: Disabled
Advanced Endpoint Assessment	: Disabled
Shared License	: Disabled
Total TLS Proxy Sessions	: 2
Botnet Traffic Filter	: Enabled
Cluster	: Enabled

解決手順 :

1. デバイスに設定されているスマートライセンシングトランスポート方式が、スマートトランスポートまたはCallhomeであることを確認します。
2. デバイスが適切なサーバ(スマートトランスポートの場合はsmartreceiver.cisco.com、Callhomeトランスポートの場合はtools.cisco.com)を解決して到達できることを確認することにより、DNS解決が正しく機能していることを確認します。
3. 接続を復元した後、license smart renew authコマンドを実行してライセンス認証を更新します。

シナリオC

条件: ASAは、1年以上スマートライセンス認証局に到達できなかつた後にリポートされました。

ステータス:ライセンス認証局への接続が1年間失敗した後にデバイスをリポートすると、デフォルトで評価モードになります。このモードではエクスポート制御機能(強力な暗号化)が無効になります。これにより、VPNの停止、スプリットブレインフェールオーバーのシナリオ、またはSSHの停止が発生する可能性があります。

<#root>

Status: REGISTERING - REGISTRATION IN PROGRESS
Export-Controlled Functionality: NOT ALLOWED

Initial Registration: FAILED on Dec 16 2025 12:59:29 UTC
Failure reason: Communication message send error

Next Registration Attempt: Dec 16 2025 14:00:10 UTC

License Authorization:

Status: EVAL MODE

解決手順：

1. デバイスに設定されているスマートライセンスングトランスポート方式が、スマートトランスポートまたはCallhomeトランスポートのいずれかであることを確認します。
2. デバイスが適切なサーバ(スマートトランスポートの場合はsmartreceiver.cisco.com、Callhomeトランスポートの場合はtools.cisco.com)を解決して到達できることを確認することにより、DNS解決が正常に機能していることを確認します。
3. 接続が復元したら、`license smart register idtoken [TOKEN]`コマンドを実行してデバイスを登録します。
4. デバイスはクリプト関連の設定を行わずに起動されているため、「設定を保存しない」と表示されます。call-homeを使用するために「license smart」サブモードで「transport type callhome」が設定されている場合でも、登録が成功した後に、元の暗号設定が復元されるように設定を保存することなく、デバイスをリロードできます。
5. デバイスが必要な暗号設定で起動したら、ライセンスの問題を解決するため、ライセンス認証局(RA)への接続を復元するか、smartreceiver.cisco.comへの接続が許可されるまで、license smartサブモードで一時的に「transport type callhome」を設定します。

トラブルシューティング

- smartreceiver.cisco.comへの到達可能性があり、このFQDNを解決するためにDNSが正しく設定されていることを確認してください。
- 問題に応じて、HTTPおよびライセンスのデバッグを利用できます。
 - `debug http 255`
 - `debug license agent all` (ライセンスエージェントの全てをデバッグ)
 - デバッグライセンス255
- 接続の問題を引き起こす可能性がある既知のソフトウェアの不具合は2つあります。検証は次の項目に基づいて実施できます。

「Cisco Bug ID [CSCwp10957](#)」:Cisco ASAソフトウェアのバージョンが9.20(4)14、9.22(2)14、または9.23(1)22よりも前である場合、脆弱性が存在します。

Cisco Bug ID [CSCws62173](#):ASAが、ソフトウェアバージョン9.20(4)22、9.22.3、または9.24(1)9よりも前のセキュアファイアウォール2100(FP2100)シリーズプラットフォームで実行されている場合、脆弱性が存在します。

関連情報

- [Cisco Secure Firewall ASA一般操作CLIコンフィギュレーションガイド9.20](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。